



20 長建ま第 31 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

長岡京市長 小田 豊
(建設部まちづくり推進室担当)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のみだしのことについて、別紙
のとおり回答します。

道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤であり、道路網の整備は、広域的な地域間連携や文化の交流、商圏の拡大等の促進とともに、道路のバリアフリー化は高齢者や障害者の皆さんの社会活動への参加を促し、活力と魅力ある地域づくり、安全で快適な環境づくりの推進には欠かす事の出来ないものである。

大都市圏周辺の市町村は、昭和 30 年からの高度経済成長時には大都市成長の裏で大きな影響を受け、負の負担を担ってきた。大都市で住めなくなった人が、近郊の市町村へ流れてきて人口が急増しベッドタウンとして発展してきた結果、道路等の都市基盤整備よりも住宅開発と教育施設の整備が早急に求められ、それらの整備に追われてきたのが実態である。

具体的には、住宅需要に対応する住宅建設ラッシュの状況から、住宅開発に法規制が追いついていかず、農地の宅地化が進み、土地のスプロール化とともに自然環境の悪化も大きな課題となっていた。特に、土地の単価は大都市圏に近い価格で推移してきており、公共事業の推進にとっても今は大きな弊害となっている。本市の都市計画道路の整備率が約 29%と低迷していることは、それらの課題を如実に物語っている。

現在、大都市における道路整備が完了してきている状況は、これら大都市近郊各市町村のまちづくりの低迷の犠牲の上に成り立ってきたものとする。

このような状況を踏まえ、今回策定される「中期計画」においては、大都市中心の計画では無く、地方の実情を十分勘案のうえ、地方における着実に早期の道路整備に向けた計画づくりをされるよう強く要望する。

○現状

通過交通による渋滞



鉄道踏切による慢性的な交通状態



○課題

- 朝夕ラッシュ時の慢性的な交通渋滞
 - ・京都市内へ向かう車両が迂回するなどの通過交通による渋滞
 - ・鉄道踏切による交通渋滞
 - ・都市計画道路の整備が遅れていることによる交通渋滞
- 道路のバリアフリー化
 - ・歩道、カーブミラー等の交通安全施設の充実や道路拡幅
 - ・道路の段差や急勾配の解消、安全な道路横断のために必要な工夫
- 人を優先に考えたみちづくり
 - ・人や物の移動手段にとどまらず、人々が集い語り合う場や散策、サイクリング等も楽しめる空間の整備
 - ・沿道の人々の生活や自然環境、景観等に配慮した整備

全ての人にやさしい安全で安心の“やすらぎのあるまちづくり”

- ・ 災害に強いまちづくり

良好な居住地・定住地としてふさわしい都市環境を目指し、全ての人が安心して住み続けられる災害に強いまちづくりを目指すため、避難路、避難場所の整備等を図っていくとともに、とりわけ、既成市街地等において、生活道路の順次拡幅やオープンスペースの確保を図り、地域の防災性の向上を進める。

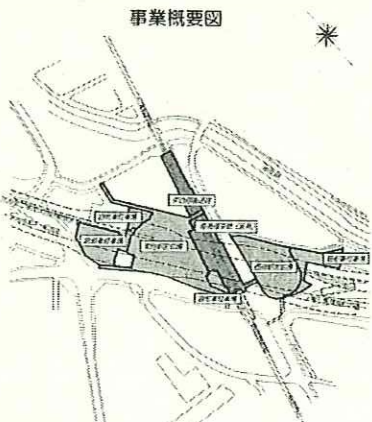
- ・ 歩きやすいまちづくり

高齢・福祉社会の到来も視野に入れ、子供から高齢者・障害者まで全ての人が、自由に安心してまちを移動できるような、連続性に配慮したバリアフリーのまちづくりを目指していく。このため、段差が少なく車椅子なども含めてすべての人が安心して移動できるような、歩道の整備や公園・駅・公共施設等の整備充実とともに、鉄道やバス等の公共交通機関の乗り継ぎや利用しやすい環境づくりを進める。

- ・ 人・環境にやさしいまちづくり

単に移動しやすいだけでなく、優れた地域資源や公共公益施設集積地など、まちを散策・回遊したくなるような魅力ある歩行者・自転車ネットワークの形状を目指し、景観整備と連動しつつ、歩道整備や車両通行の規制など、人中心のみちづくりへの転換を進める。

[illegible]

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
「モビリティの向上」	京都第二外環状道路（京都縦貫自動車道）	地方の町を通過する車両の交通渋滞は、基幹道路整備の遅れに追い打ちをかけ、慢性的な市街地の渋滞を引き起こしている。 渋滞解消の為、環状道路網（本市の場合、京都第二外環状道路）の早急な整備は、道路整備における役割分担において国・都道府県の責務であり、積極的な整備促進を要望する。 （期待する効果） ・通過交通による市内の慢性的な渋滞の解消 ・救急医療を支える効果（時間短縮）	
「交通結節点における広域的な拠点整備」	京都第二外環状道路（京都縦貫自動車道）とその高架下に設けられる阪急新駅（新駅は、長岡京 IC(仮称)大山崎方面のわ・オランプの直下に位置する。） 事業概要図 	高速道路のインターチェンジと都市鉄道の結節点という他に類を見ない恵まれた立地を活かした、新たな都市交通政策の具体化を進める。 （期待する効果） ・長岡京市南部地域における公共交通の利便性の向上 ・交通分散による中心市街地の交通渋滞緩和 ・パーク＆ライド駐車場等による公共交通へのシフト	

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

京都府長岡京市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
「社会資本ストックの老朽化対策」	小畑川・小泉川等に架橋している生活に密接した橋梁群 （管理橋梁：大小の橋梁合計９７橋）	架橋から数十年が経過し、老朽化による耐久・機能面の維持が喫緊の課題となっている。 （期待する効果） ・施設の耐用年数経過時等における、適切な機能向上も含めた更新の実施 ・計画的な社会資本の管理・運営（アセット・マネジメント）の実施 ・ライフサイクルコストの最小化	